

平成 15 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ユー・エス・エス
代表者名 取締役社長 服 部 太
(コード番号 4732 東証・名証第1部)
問合せ先 財務部長 山 中 雅 文
(TEL. 052 - 689 - 1129)

平成 16 年 3 月中間期 (連結・単独) 業績予想および
通期 (連結・単独) 業績予想の修正について

平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 15 年 5 月 26 日付当社「平成 15 年 3 月期決算短信 (連結)」および同日付当社「平成 15 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 16 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期の連結業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	18,500	7,900	3,300
今 回 修 正 (B)	19,550	8,800	4,650
増 減 額 (B - A)	1,050	900	1,350
増 減 率	5.7%	11.4%	40.9%

(2) 修正理由

東京会場のほか札幌、西東京、大阪など子会社運営の会場も好調に推移し、出品台数は 796 千台 (予算比 3.7%増) となるとともに、成約台数も 463 千台 (予算比 9.4%増) と計画を上回る見通しであります。オークション事業の好調により売上高は 19,550 百万円 (予算比 5.7%増)、経常利益は 8,800 百万円 (予算比 11.4%増) となる見込みであります。

また、横浜市戸塚区の土地 (横浜ドリームランド跡地) の売却を中間期に計画し、土地売却に伴う固定資産売却損 1,500 百万円を予算に計上しておりましたが、土地売却の本契約が 10 月以降となったため、中間期はこの特別損失の計上がなくなり、当期純利益は 4,650 百万円 (予算比 40.9%増) となる見込みであります。

なお、横浜市戸塚区の売却予定地は、土地取得後、平成 14 年 3 月期決算において土地の再評価に関する法律に基づき、土地再評価を行いました。この際に、簿価が購入価額よりも高い評価となったため、今回の売却により売却損が発生するものであります。

(3) 通期の連結業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	40,000	16,700	8,200
今回修正 (B)	41,500	17,200	8,450
増減額 (B - A)	1,500	500	250
増減率	3.8%	3.0%	3.0%

(4) 修正理由

下期におきましては、売上高はおおむね計画どおりであります。広告宣伝費等の経費が当初計画よりも増加するため、通期の売上高は 41,500 百万円 (予算比 3.8%増) 経常利益は 17,200 百万円 (予算比 3.0%増) となる見込みであります。また、土地売却に伴う固定資産売却損 1,500 百万円により当期純利益は 8,450 百万円 (予算比 3.0%増) となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (14/4 ~ 14/9)	14,941	7,401	3,980
通期 (14/4 ~ 15/3)	33,819	15,382	7,645

2. 平成 16 年 3 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期の単独業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,820	6,440	2,600
今回修正 (B)	11,150	6,650	3,550
増減額 (B - A)	330	210	950
増減率	3.0%	3.3%	36.5%

(2) 修正理由

東京会場の好調などにより、出品台数は 564 千台 (予算比 0.9%増) 成約台数も 324 千台 (予算比 5.7%増) と計画を上回る見通しであり、売上高は 11,150 百万円 (予算比 3.0%増) 経常利益は 6,650 百万円 (予算比 3.3%増) となる見込みであります。

また、横浜市戸塚区の土地売却に伴う固定資産売却損の計上が下期にずれ込んだため、当期純利益は 3,550 百万円 (予算比 36.5%増) となる見込みであります。

(3) 通期の単独業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	22,500	13,270	6,530
今回修正 (B)	22,800	13,350	6,550
増減額 (B - A)	300	80	20
増減率	1.3%	0.6%	0.3%

(4) 修正理由

下期におきましては、売上高はおおむね計画どおりであります。販促費等の経費が当初計画よりも増加するため、通期の売上高は22,800百万円(予算比1.3%増)、経常利益は13,350百万円(予算比0.6%増)となる見込みであります。また、土地売却に伴う固定資産売却損1,500百万円により当期純利益は6,550百万円(予算比0.3%増)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (14/4 ~ 14/9)	10,454	6,181	3,315
通期 (14/4 ~ 15/3)	21,608	12,669	6,269

以上